

3名の地域おこし協力隊員が退任します

平成27年度に着任した3名の地域おこし協力隊員が3月末日をもって退任します。

退任後も町の地域発展のために様々な活動に取り組む予定です。今後ともよろしくお祈りいたします。



退任の「あいさつ」

○木下愛貴

皆さんこんにちは。協力隊員の木下です。広報に記事を掲載することも今回で最後となりました。2年と8ヶ月の協力隊生活もいよいよ終わりを迎えます。

私は協力隊の活動で会社員時代では経験できない多くの仕事に携わらせていただきました。麻の商品開発、「ククロとゆめな」のプロジェクト、ネットラジオ放送局運営、映像制作、鳥獣被害対策関係など種類も多岐にわたります。平成28年4月には社団法人を立ち上げ、公と民の両面の視点から活動を行ってきました。町民の皆さまや行政が求めている成果を挙げられたかどうかは疑問ですが、全力で取り組んできました。

協力隊としての活動は私自身の「力不足」を痛感する日々でもありました。それなりに仕事をこなしてきた過去から、心におごりがあったのだと思います。実際に活動してみると何もできない未熟者でした。迷惑ばかりかけ、周りに頼り、力を借りないと何もできませんでした。本当に申し訳ないと思っています。

そんな私を支えていただいた皆さまと行政には感謝しかありません。

ん。着任当初から掲げていた「地域の経済循環に寄与する」にはまだ時間がかかりそうです。引き続き町の地域振興に携わり、恩返しをさせていただけますと幸いです。本当にありがとうございます。

○中村舞子

那須町に来てから早くも2年8ヶ月となり、3月で地域おこし協力隊としての任期が終了となります。篠工芸との出会いも、そこから繋がった新しい出会いも、今までの生活では考えられないくらい広がり、新しい刺激も影響もたくさん受けました。自分は何ができたのか悩んだこともありましたが、やっと自分のできる事を少しずつ実行できるようになってきたように思います。また、四季や天候などにも影響されながら、ころころ変わる景色と共に生活できる事がとても幸せなことだと再確認できた期間でした。

任期中は篠工芸の販路拡大、販売やワークショップを行う「渦」を設立し、イベント出店や篠刈り体験ツアーの実施、小学校での伝統工芸体験などを行いました。今後は、継続して篠工芸の技術習得をメインに、篠ざるやかごを昔のように身近に使いやすくする工夫をしていきたいと考えています。

篠工芸はまだまだ分からないと

ころがたくさんある分野です。その分、可能性もあります。この那須地域でないと出来ない事であり、この土地の昔からの知恵と技術です。その技術を後世にも残していく事を目標に、今後も篠に関する研究を続けていければと思っています。

また、変わらず黒田原駅前映画祭もボスター撮影などの活動を実行中です。今後とも変わらぬお付き合いをよろしくお願い致します！

○友光沙季

皆さんこんにちは。広報への掲載も今回で最後となりました。地域おこし協力隊としての活動は2年4ヶ月と短い期間ではありましたが、大変濃い時間を過ごさせていただきました。一緒に活動していただいた方々、多方面でお世話になった方々、本当にありがとうございます。

さて、今日は自分なりに地域おこし協力隊での活動の総括をしてみようと思います。私は、「自身が共感したものの、興味を惹かれたものに携わる」ということを軸に活動してきました。今思えば、「楽しいね!」と言いたい、共感し合える仲間が欲しかったのだと思います。ありがたい事に、今では多くの仲間や先輩方に可愛がっていただき、自分が思い描い

ていた人間関係が築けたように思います。

那須には熱い志を持った方々が大勢います。その想いが集約された時に素晴らしい化学反応が起きるのだと思います。地域の皆さまと協力してきた私の活動が、その化学反応のひとつになることができたのであれば幸いです。

任期は終了しますが今後もいくつかの活動を継続していく予定です。街中で見かけた際はお声掛けください。皆さんの元気な姿もぜひ見せてください。それでは、また逢う日まで!さようなら!



木下さん

友光さん

中村さん